



けんびよういん

No. 28

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院 平成25年7月20日発行 第28号
ホームページアドレス <http://www.tajimi-hospital.jp/>

■ 発行責任者／原田 明生

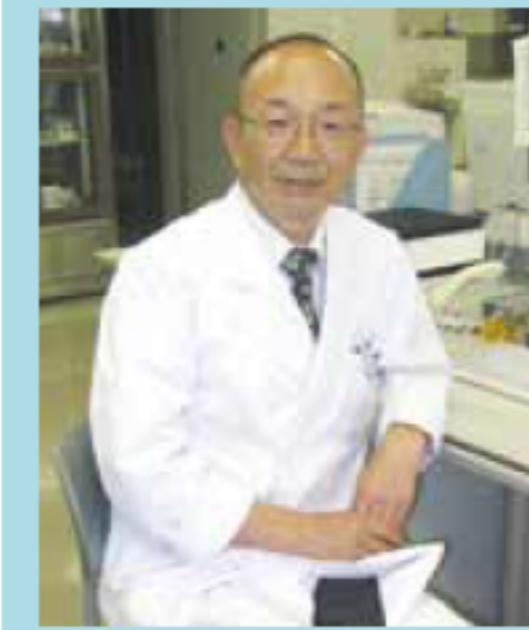
編集／地方独立行政法人岐阜県立多治見病院広報委員会

いいます。もちろんそれ以外にいろいろな要因が必要でしよう。たとえば恵まれた人材などは不可欠かと思います。幸い当臨床検査科は個性豊かで、勤勉な職員38人で構成されています。その中には細胞検査士6名、超音波検査士（腹部4名、胸部4名）、認定輸血検査技師1名、二級病理緊急検査士1名、細菌検査士1名、特定化学物質等作業主任者

太陽が眩しい季節となりました。株とは何ら関わりを持つておりますが、リーマンショック以前までせんが、リーマンショック以前まではあります。株価が回復し日本経済にささやかではあります。が明るいニュースが聞こえてまいります。家庭でも病院でも経済力が豊かであればそれだけでも明るく元気になるものと思

3名と多くの技師が専門資格を取得しております。またそれらの資格、技術、知識の取得を目指し努力する若手の技師が在籍し、高度で正確かつ迅速、これに加え思いやりのある検査を心がけ、臨床検査科は日々元気に業務を行つております。

臨床検査科からご挨拶



臨床検査科技師長

深津
隆

緊急検査、細菌検査の対応が充実致しました。診療時間帯では、検体検査担当者に早出勤務を取り入れ、入院患者さんの検体検査を早い時間内に処理し、可能な限り外来検体検査と重ならないような時間調整がとれました。また平成23年10月から、内視鏡移設に伴いその跡地に、採血室が整備され、早朝の混

目を迎えた。その間様々な変化がありました。最も大きな変化は、平成23年度から人員3名を増員し、勤務体制に二交代制を取り入れた事です。この事により、夜間、休日の検査体制が明確になり、地域基幹病院としての時間外緊急医療に対して検査環境を整える事ができ、

検体処理など、スムーズに行うことで、患者さんの待ち時間の削減に効果を出しております。生理検査におきましては、平成22年度に腹部、胸部併用の超音波検査装置を整備し、超音波検査の待ち時間の整備に務めております。また平成24年度に脳神経外科、整形外科が行い、神経機能検査室を設立いたしました。

糸附には7人態勢で採血業務に当たることが可能となりました。これ

A group of six scientists, four men and two women, are posed for a group photo in a laboratory. They are all wearing white lab coats over dark clothing. The individuals are arranged in two rows: three people standing in the back row and three people sitting in the front row. The background shows shelves filled with laboratory equipment and supplies.

致します

2013臨床検査科の方針



臨床検査科スタッフ

診療科便り

形成外科

形成外科つてご存知ですか？

皆さんは「形成外科」という科がどのような仕事をしているかご存知でしょうか。よく整形外科や美容外科と混同されますが、簡単にいうと、「病気やけがによつて変形した身体を、できるだけ正常になおす外科」といえます。扱う疾患は幅広く、治療する部位も髪の毛から足の爪まで全身に及びます（最近では女優のアンジェリーナ・ジョリーさんの告白で話題になつた乳房再建も形成外科の仕事です）。

実際の分野としては、①やけどや顔面の骨折、手足の傷などの「外傷の治療」、②ほくろやあざ、粉瘤などの「皮膚腫瘍の治療」、③耳や鼻の変形、④頭頸部癌や乳がんで切除された部分を元に戻す「腫瘍切除後の再建」、⑤傷跡をできるだけ綺麗に治療する「瘢痕修正」、⑥床ずれや足の壊疽などの「難治性潰瘍の治療」、⑦美しくなるための「美容外科」、等があります。

そしてこれらの疾患を治すために、形成外科独特の治療法やテクニックが使われます。例えば「植皮術」や

「サージャリー」をつかつて極小の血管を縫合したり、「レーザー」でアザを消したり、「真皮縫合」でより綺麗に傷を縫つたり……。その他「局所陰圧療法」「エキスパンダー」等、様々な手技を駆使して、それぞれの患者さんのニーズに適した治療を行うようにしています。

当科には今年の4月から新たに小野医師が赴任し、外来も月曜から金曜の午前中は毎日行えるようになります。また随時名古屋大学や岐阜大学の形成外科医局と連携して高難度の手術を行つています。今後より充実した診療を行つていきたいと思いますので、パワーアップした形成外科にご期待ください。

（文責：形成外科部長 風戸孝夫）



形成外科スタッフ

呼吸器内科

い、落ち着いたら、かかりつけ医や地

元の総合病院にご紹介して治療を継続していただきます。より高度な診療が必要な方は、大学病院やがんセンターに当院からご紹介しています。

このような事情から、初期治療の段階では、当院での診療をお断りすることがありますのでご了承いただきたいと思います。将来的には、中濃（東濃地域全域で呼吸器内科専門医の診療が受けられるよう努めていますので、もうしばらくお待ちいただけます）。お気づきの点がありましたら、我々に直接ご意見ください」と思っています。お気づきの点がありましたら、我々に直接ご意見ください」と思っています。お気づきの点

（文責：呼吸器内科部長 市川元司）

また、当科は、地域の実情から、北は下呂市金山町、東は中津川市坂下からご紹介を受け、通院や入院治療を行つておらず、中濃東部から東濃全域が診療圏になります。始めに、各地域の総合病院に受診していただき、より専門的な管理や治療が必要になつた場合は、当院にご紹介いただけています。当院にて引き続き治療を行



呼吸器内科スタッフ

ボランティアさん活動紹介

◇おりべマジックショー◇

平成25年2月1日マジックショーを開催しました。マジックを披露していただいた「おりべマジッククラブ」の皆さん、数年前から当院のボランティアとして活動していただいています。

◇ミニコンサート◇

平成25年2月15日ボランティアによるミニコンサートをアトリウムや病棟にて開催しました。



おりべマジックショー



ミニコンサート



◇正面玄関前花壇◇

正面玄関前の花壇の花々が見頃を迎えました。奥村高史さんを中心とするボランティアグループの方々が、月に一度ペースで花壇の手入れをしてくださっています。活動が始まつた当初には殺風景だった花壇も、今では県立多治見病院の見どころの一つとなっています。当院にお越しの際はぜひ御覧ください。



県病院便り

防災用備品確認・
展開訓練を実施しました

当院は平成23年度から災害拠点病院に指定され、順次備品整備を進めてまいりました。平成25年3月3日(日)県立多治見病院災害対策委員会主催のもと防災用備品の展開を含め、トリアージ計画、患者収容方法等の確認訓練を、120名を超える職員の参加により開催しました。

トリアージエリア及び臨時病棟等の設置計画について、災害対策委員会間瀬副委員長による講義を受けた後、院内各所において簡易ベッド等を展開し、非常時の患者受入体制のイメージを共有しました。

終了後の意見交換会では、当院の施設状況を踏まえた意見などが多く挙がり、当院の非常体制の見直しに大きく寄与したほか、職員の災害医療に対する意識の醸成に繋がりました。

今後も災害時に備え、地域の皆さんのが安心安全に過ごせるよう努めてまいります。



(上)厚生労働省からいただいた感謝状
(下)福島県からいただいた感謝状

厚生労働省から感謝状を
いただきました

東日本大震災の被災地への支援に対し、厚生労働省から感謝状をいただきました。いただいた感謝状は正面玄関右手側のショーウィンドウ内に掲示しております。



看護部から

ようこそ看護部へ

新年度になり新しいスタッフを迎えることができました。

看護部のキヤツチフレーズである、「ホップ・ステップ・自分の夢に」のように自分の夢を持ち、夢に向かって進み、叶えられるよう看護部一同お手伝いします。



糸川副院長兼看護部長

看護の日には、「看護の心、ケアの心、助け合いの心」を分かち合うことの大切さの理解と関心を深めるきっかけとなるよう1991年から制定されたもので、レンス・ナイチンゲールの誕生日で「国際看護師デー」である5月12日を「看護の日」、その日



ミニコンサートの様子

5月12日は看護の日です
♪看護の心をみんなの心に♪

会場となつた中病棟アトリウムには多くの入院患者さん、外來患者さんにお集まりいただき、看護師7名が、クラビノーバ・クラリネット・フルート・三線など得意な楽器の演奏や、歌声を披露しました。コンサートの最後には、クラビノーバ伴奏に「故郷」を合唱しました。

緩和ケア病棟では、患者の心をアピールするとともに、患者さんの気分転換・癒しの時間を作りおやつの提供、誕生日にはメッセージカードを添えたデザートの提供などのサービスの他、平成24年4月から『織部食』という新しい食種を緩和ケア専用として新設し、たこ焼きやカニ雑炊など普段病院食では提供していないメニューを新しく取り入れています。平成25年4月からは全病棟に展開するため、「なごみ食」と名前を変えて化学療法などの治療による食欲不振の患者さんにも提供し始めています。

緩和ケア病棟が平成22年6月に開設してから、終末期の食事ケアとして様々な食事の取り組みを行つてきました。週1回手作りおやつの提供、誕生日にはメッセージカードを添えたデザートの提供などのサービスの他、平成24年4月から『織部食』とい

う新しい食種を緩和ケア専用と

して新設し、たこ焼きやカニ雑

炊など普段病院食では提供して

いないメニューを新しく取り入

れています。平成25年4月から

は全病棟に展開するため、「なご

み食」と名前を変えて化学療法な

どの治療による食欲不振の患者

さんにも提供し始めています。

なごみ食では織部食で提供のな

かったラーメン、餃子、ナポリ

タンなどさらに新しいメニュー

を増やしているところです。摂

取不良であつた患者さんがなご

み食に食事を変更することで摂

取量が増えた例がみられています。提供を始めたばかりですが、

栄養管理部から

緩和ケア病棟での食事の取り組みについて

患者さんから「なごみ食に変更したことで完食することができました。ありがとうございました。」と嬉しい手紙をもらうことができました。

さらに平成25年4月から、月に1回緩和ケア病棟へ手作りスープ【ほっとメニュー】を提供するイベントを始めました。日頃病棟へ行く機会の少ない調理師と一緒に手作りのスープを緩和ケア病棟にあるデイルームのキッチンで調理し、出来立てのスープを提供しています。その場で美味しかったと感想を頂けるためやりがいを感じています。今後も多くの患者さんの笑顔がみられるよう食事の工夫を行っていきたいと思います。



ほっとメニュー配膳の様子



ほっとメニューの例

患者図書室「ぬくたうらいぶらり」を開設しました

多治見病院では、これまで『情報コーナー』として患者さんやそのご家族が読書をする場を提供していましたが、このたび、NPO法人「医療の質に関する研究会」から医学図書等の寄贈を受け、医療情報を提供する『患者図書室』としてリニューアルオープンしました。

患者図書室では患者さんの「生きる力」、治療への意欲を育むとともに不安を解消し、患者さん自身の健康的な生活を実現するサポートを行います。医師から説明された病名や治療方法、検査や処方されたお薬などについて、より理解を深められたいときには、お気軽に患者図書室「ぬくたうらいぶらり」へお越しください。

「ぬくたう」とは?

患者図書室名に使われている「ぬくたう」とは、東濃地方の方言で「あたたかい」という意味の

言葉であり、「あたたかい医療を提供する」という当院の理念、そして訪れる方の心を温かくできるような場所にしたいという想いから名付けました。



図書室内の資料は自由にご覧頂けます。ご不明な点がございましたら、お気軽に患者図書室スタッフへ

ご質問ください。
図書室内の資料は自由にご覧頂けます。ご不明な点がございましたら、お気軽に患者図書室スタッフへ

ご質問ください。
4. パンフレット・チラシ
病気・治療に関するパンフレット類を設置しており、ご自由にお持ち帰りいただけます。

△ご利用についてのお願い△

患者図書室内での飲食はご遠慮ください。

0冊をご用意しています。

△点字図書△「多治見点訳友の会」様より寄贈された点字図書30冊をご用意しています。

△一般書△医療関係者や患者さんからご寄贈頂いた一般書籍のほか、「岐阜県安心こども基金文庫」として寄贈された児童書や絵本約2000冊をご用意しています。

当室で提供している情報は特定の内容や治療法をお勧めするものではありません。また、患者さんはありません。また、患者さんご自身の状況と一致しないこともあります。詳しい説明や疑問に思われたことは、担当の医師にご相談ください。



2.ビデオ視聴

病気、治療に関する映像を備え付けのパソコンでご覧になります。

3.インターネットの利用

医療に関する、わかりやすいサイトが集められています。

△患者図書室の場所△

中西病棟2階リハビリ室横

△サービス内容△

1.蔵書の閲覧

外来診療表

平成25年7月1日現在

診療科目	初診・再診別	月	火	水	木	金
内科	初診	佐野	西	奥村	水島	西江
	再診	奥村	岩崎	安部 井上 (午前)	西	佐野
	初・再診	加地	水島	鎌木 (午後) 市川祐祐 (午後)	西江	福定
	循環器内科	日比野	横井清	矢島	横井清	矢島
	初・再診	堀部	森賛	秋田	日比野	上山
	腎臓内科	吉岡	—	堀部 (午前)	重田	山瀬
	血液内科	—	—	ベースメーカー 外来 (午後)	—	—
	膠原病・リウマチ科	—	※横田 (午前)	—	※橋本 (午後)	—
	内分泌内科	杉浦	小澤	富永	近藤	小澤
	呼吸器内科	松浦	市川元 (午後)	矢口	志津	小林直
神経内科	初診	毛利	青木	岸本	毛利	高木
	再診	岸本	高木	青木	高木	青木
	青木	※横井聰 (午前)	毛利 (午後)	高木	岸本	毛利
整形外科	紹介初診	中島	高津	伊藤茂	高津	山本拓
	初診	安藤友	酒井	大野徹	後藤	中野健
	第2・4週	中野健	酒井	大野徹	後藤	安藤友
	再診	大野徹 山本拓	伊藤茂 山本拓	後藤 中島	伊藤茂 安藤	高津 大西(午後)
	第1・3・5週	—	—	中野健	酒井	—
	第2・4週	—	—	酒井	中野健	—
形成外科	初診・再診	風戸	風戸	小野	小野	風戸
眼科	初診・再診	伊藤孝	安田	伊藤孝	伊藤孝	伊藤孝
	米今	—	—	米今	米今	—
放射線治療科	初診・再診	小山	小山	小山	小山	小山柳
	柳	柳	—	柳	柳	—
放射線診断科	肺生検	—	—	—	—	古池 (午後)

■診療時間 午前9時～(診療科によっては午前8時30分～)

■休診日 土・日・祝祭日、及び年末年始(12月29日～1月3日)

- 予約のない方の診療受付時間 初診・再診 午前8時30分～午前11時まで
- 各診療科目担当医師については、都合により代診させていただく場合があります。また、移動により担当医師が変更する場合があります。
- 救急診療については、救急外来受付(内線2486)まで、お問い合わせ下さい。
- 女性外来の予約は、医療連携室(内線2487)へご連絡下さい。



外来診療の電話予約について

混雑緩和と利便性向上のため外来診療は予約制としております。継続して診療を受けておられる患者さんには、診察時に次回の予約をしていただきます。予約を保留された場合やしばらく受診のない場合は、電話予約のうえご来院ください。

予約専用電話 0572-21-2200

電話予約受付時間 当日の予約(平日) 8:30～11:00
翌日以降の予約(平日) 13:30～16:30

※診察券の患者番号をお知らせください。

※診察券のない初診患者さんは、電話での予約はできません。

※診療機関からの紹介患者さんについては、診療機関から当院医療連携室へご連絡ください。

診療科目	初診・再診別	月	火	水	木	金
精神科	初診	栗林	マイケル	中村博	高田	水野嶺
	再診	マイケル	中村博	高田	中村博	高田
小児科	初診・再診	—	—	栗林	水野嶺	—
		中野暮	荒川	立木	荒川	立木
新生児科	午前 特別外来	石田	谷口	中野暮	三沢	谷口
		向井	三沢	石田	—	竹田洋
外科	午後 特別外来	[心臓] 荒川	—	[カゼング] 中野正	[カゼング] 中野正	[精1.5週] 濱口
		—	[心臓] 荒川	[カゼング] 中野正	[カゼング] 中野正	[精2.4週] 根岸
外科・消化器外科	外科・消化器外科	—	[内分秘] 立木	[アレギー] 中野暮	[小兒] 谷口	[乳器] 荒川
		[予防接種] 竹田洋	[検診等] 竹田洋	[内分秘] 石田	—	[乳器] 立木 三沢 第1・3週 中野暮 谷口 石田 第2・4週
外科	初・再診	小西	原田	出口	梶川	梶川
		水野亮	鎌田	小西	伊藤浩	百々
外科	乳腺 内分泌外科	山中	多代	水野亮	多代	—
		—	山中	—	百々	—
外科	心臓血管外科	宮嶋	大野元	大野元	多代	大野元
		山中	多代	宮嶋	百々	宮嶋
外科	呼吸器外科	—	山中	—	—	百々
		—	—	桑原	桑原	—
外科	脳神経外科	伊藤正	—	—	伊藤正	—
		代務医	伊藤淳 白石	杉田 川口	伊藤淳 島戸	担当医
外科	麻酔科	間渕	山田富	草間	山崎	稻垣
		石川	石川	石川	石川	梶川
外科	皮膚科	安藤与	安藤与	安藤与	安藤与	安藤与
		—	日置	—	※代務医	—
外科	泌尿器科	高士・服部	桃井・服部	高士・服部	高士・服部	桃井・服部
		竹田明	中村浩	林	杉山	井本
外科	産婦人科	中村浩	杉山	竹田明	—	竹田明
		林	井本	杉山	—	中村浩
外科	耳鼻咽喉科	—	—	中村浩	—	—
		富田	中村彩	上田	森遥	中村彩 富田
外科	歯科 口腔外科	上田	富田	中村彩	上田	森遥
		河原	山本圭	小栗	佐藤	山本圭 小栗
外科	緩和ケア内科	小栗	小栗	河原	河原	山本圭
		山本圭	佐藤	佐藤	山本圭	佐藤
外科	女性外来	伊藤浩	—	—	—	—
		—	—	—	—	※松下

※は非常勤医師です。

初診患者さんのFAX・電子メール予約について

当院の受診歴のない方でも、次の項目をFAXまたは電子メールで送信していただければ予約できます。
 ①氏名(漢字とフリガナ) ②性別 ③生年月日 ④住所と郵便番号
 ⑤電話番号(自宅及び連絡先電話番号)
 ⑥健康保険の種類・保険者名・記号・番号(保険証記載のもの)
 ⑦受診希望診療科名
 ⑧受診希望日時 ⑨紹介状(診療情報提供書)の有無

初診予約用FAX 0572-21-1022
 初診予約用電子メール yoyaku@tajimi-hospital.jp

電話予約センターから折り返し電話確認をし、登録完了となります。
 ※FAXや電子メールの折り返しの電話は電話予約センターの受付時間内となります。また、送信されてもすぐにご連絡できない場合があります。万が一電話予約センターから連絡がない場合(休日以外の日で24時間以上ない場合)は、予約専用電話でお知らせください。

外来診療の電話予約について

混雑緩和と利便性向上のため外来診療は予約制としております。継続して診療を受けておられる患者さんには、診察時に次回の予約をしていただきます。予約を保留された場合やしばらく受診のない場合は、電話予約のうえご来院ください。

予約専用電話 0572-21-2200

電話予約受付時間 当日の予約(平日) 8:30～11:00
翌日以降の予約(平日) 13:30～16:30

※診察券の患者番号をお知らせください。

※診察券のない初診患者さんは、電話での予約はできません。

※診療機関からの紹介患者さんについては、診療機関から当院医療連携室へご連絡ください。



PRINTED WITH
SOY INK™

環境にやさしい古紙100%の
再生紙と大豆油インキを使用しています

この広報紙「けんびょういん」は当病院ホームページでもご覧頂けます。

URL <http://www.tajimi-hospital.jp/>